

平成 28 年 社会福祉法人芳香稚草園
総合子育て支援施設 豊愛子どもの森 事業報告書

1. 支援センターの運営状況

- ・子育て支援センター 「たけのこルーム」
- ・放課後児童クラブ 「お花ばたけ」
- ・病後児保育 「森のこかげ」
- ・一時保育

1. 地域子育て支援センター「豊愛子どもの森」事業内容

平成 24 年 11 月に旧見附センターという大型スーパーの空き店舗を利用し、地域に根差す子育て支援施設として運営がスタートし、3 年が経過した。

地域全体の子育ての支援を図るため、子育てへの不安や負担感を軽減するための相談業務、保健講座、離乳食講座などを開催しながら情報提供等を実施することにより、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う事を目的としながら運営している。

また、0 歳児～12 歳までの「継続された子育て支援」を目的とし、小学校へ通学する児童が利用する「放課後児童クラブ お花ばたけ」を同施設内に設置し、児童の養護と教育を目的として預かりを実施している。

放課後児童クラブの預かり児童の中には、特別支援学級へ通級している発達障害を持つ児童も含まれており、保護者はもちろん、小学校、特別支援学級の担任等、関係機関との連携を図ったソーシャルワーク的な支援も取り入れながら、個別な対応、ニーズに合わせながら預かりを実践している。

2. 事業内容

【子育て支援センター たけのこルーム】

◎開所時間 月曜日～金曜日 (午前 9 時 30 分～午後 4 時まで)
土曜日 (第 1・3 土曜日 午前 9:00～正午まで)

◎担当職員 保育士 1 名 保育助手 1 名

当施設の室内において、未就園児とその保護者が一緒に気兼ねなく自由に遊べる空間の提供を実施。季節の行事、楽しく体を動かす「音楽遊び」、保護者が楽しむ「手仕事の日」として、みなさんが製作を楽しむ共有時間の提供、担当職員による手遊び、絵本の読み聞かせ等を実践している。

夏の季節では、屋内プールを開放し、保護者からは快適に安心してプール遊びが出来ると好評であった。(日焼けや、外気温に左右されない快適な環境で遊べる)

平成 28 年度の利用者数は、延べ 2,890 名であった。(平均 1 日 6～7 組利用)

◎育児相談

育児相談は随時受け付けているが、情報収集の便利さからか、離乳食、トイレトレーニング等の一般的な子育て相談は近年少ないように感じている。それよりも夫婦間の悩みや、家庭内の諸問題、一人の女性として、話を聴いて欲しいという相談が多くなっているように感じる。

昨年度から特に多様化した相談が増えている背景を踏まえ、担当職員は、ニーズに応じて対応できるスキルを身につける必要性があり、積極的に研修会や講習会等に積極的に出席し、更なるスキルアップの機会を得ながら、多様化する相談業務に対応できる人材育成が必要となってきたと捉えている。

また、保護者を対象とした「親支援」という視点を持ち、「ソーシャルワークスキル」を用いた対応を始めている。必要に応じて、必要な機関へつなぐという支援を視野に入れ、関係機関と相互の連携の力によって、個々に応じた丁寧な支援、対応を行っていきたいと考えている。

◎年間行事・イベント

年月日	行事名	年月日	行事名
H28.4.22	こいのぼりを作ろう	H28.10.31	ハロウィーンパーティー
H28.5.14	音楽あそび～親子で体を動かそう～	H28.11.10	バルーンで楽しもう
H28.6.9	救急法講習会	H28.11.28	クリスマス製作「手形アートで作るカード」
H28.6.15	保育園行事「青葉まつり」へ参加しよう	H28.12.5	手作り年賀状を作ろう
H28.6.13	看護師による保健講座	H28.12.14	Xmas お楽しみ会
H28.6.30	プール開き	H28.12.27	栃尾高校吹奏楽による演奏を聴こう
H28.7.13	カラフル泡遊びをしよう	H29.1.12	寒天遊び（色つきの寒天の中に宝物）
H28.7.20	ボディペインティングで楽しもう	H29.1.18	看護師によるミニ講座「冬の感染症」
H28.8.10	噴水で遊んでみよう	H29.1.23	節分製作
H28.8.24	色水を混ぜて遊んでみよう	H29.2.3	みんなで鬼退治！ 鬼ボーリングで遊ぼう
H28.9.13	スタンプ遊び	H29.2.9	図形遊び
H28.9.10	保育園行事「運動会」へ参加しよう	H29.2.6	ひな祭り製作
H28.10.3	作品展に向けて「デカルコマニー製作」	H29.2.10	保育園行事「涅槃絵」に参加しよう
H28.10.13	壁に落書きして遊ぼう！	H29.3.3	ひなまつり会
H28.10.22	作品展	H29.3.25	たけのこルームお別れ会

■第2 火曜日…手仕事の日

■第3 火曜日…親子でリズム遊び

■毎月1回…身体測定・お誕生日会の開催

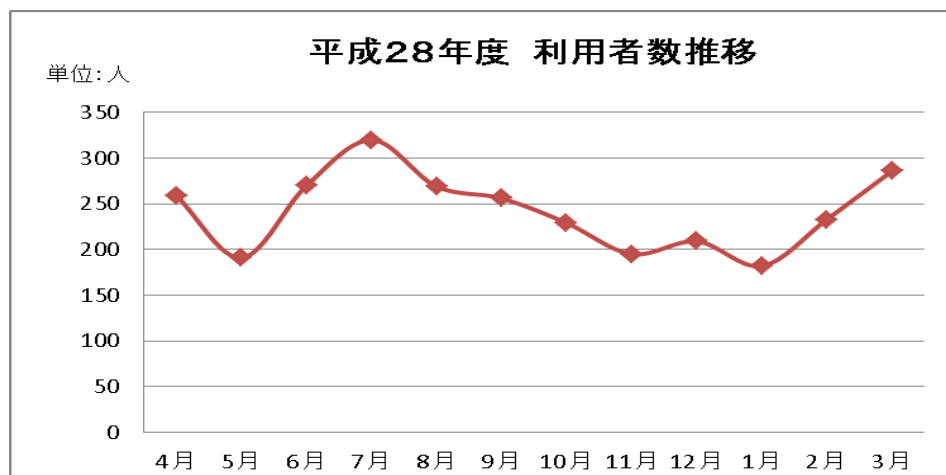
■you 遊びの教室…毎月1回

◎育児講座など

当法人には、管理栄養士や、看護師、歯科助手等がおり、その人的資源を使って、ミニ講座を提供しようと企画していたが、利用者数が減少し利用者参加数が読めない中で、講座開催が難しい状況であった。

しかし、少ない利用者数でも、確かな情報を提供できる機会として、また質問しやすい雰囲気、環境となり内容が濃い時間となったように感じている。

<利用状況>



利用者数の推移グラフからみて、今年度は里帰り出産による一時的利用や、新規利用者も不定期の利用が見られ、7月までの増加をピークに減少傾向を辿って安定した利用が見込めていない時期があったが、平成29年に入り、利用者が安定してきて徐々にグラフも右肩上がりの増加傾向を辿るようになった。増加となった要因については、出産から安定した6ヶ月～等を選んで利用する保護者が多かった事、自宅に籠ってしまう冬に、子どもと一緒にストレスとなり、支援センターを利用するケース、また支援センター職員と信頼関係も築け心から安心して利用してくれるようになった雰囲気を感じる事だと思う。

また、当施設を利用できるのは、芳香稚草園入園予定の子どもと保護者に限定されると理解している方もまだ存在しており、「地域に位置する支援拠点」であるというアプローチがまだ今後の課題やPR不足は否め

ないと感じている。地域の中で存在している誰もが利用できる子育て拠点施設であるという存在についてのPRは引き続き、勢力的に行っていこうと思う。

【放課後児童クラブ おはなばたけ】

- ◎開所日数 267日
- ◎開所時間 月曜日～金曜日（放課後～午後7時まで） 土曜日（第1・3）7時30分～正午
- ◎担当職員 放課後児童クラブ指導員 2名 地域子育て支援員 1名
保育士（地域子育て支援士2級） 2名 放課後児童クラブ指導員補助 2名

当施設の専用スペースに於いて、放課後～午後7時まで、また、夏休み等による長期休暇、学校予定による学校休業日に預かりを実践している。

当放課後児童クラブでは、毎日の宿題を中心とした「学習指導」や、異学年と交流の持てる場として機能させ運営を実践している。

学習指導については、個々の能力に応じた指導はもちろんであるが、「個人別カリキュラム」を作成し、常に職員間で児童の様子について状況をシェアしながら進めている。過疎地と言われるエリアに住む児童については、下校後、遊ぶ子どもがいないという理由により利用する児童も少なくない。

この「学習指導」と「遊び場」という点は、保護者の求めるニーズと大変マッチングしており、公立の学童では「遊び場」であっても、「学習指導」がなされていない現状があり、保護者から「大変助かっている」という言葉を頂いている。

また、保護者より子どもの成長段階における様々な悩みや、児童と保護者を取り巻く環境要因による悩み等にも保護者の心に寄り添い、相談業務を実施している。また必要に応じて関係機関との連携をしっかりと図りながら努めている。

【平成28年度 学年別利用人数】

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
通常利用人数	5名	6名	10名	4名	4名	1名

（放課後児童クラブの拡充 ～南小学校区へ～）

従来、お花ばたけとして放課後児童クラブを栃尾東小学校児童を主に預かりの実践を行ってきたが、栃尾南小学校区にも放課後児童クラブを設置してほしいという声に対応すべく、「サテライト拠点（中継地点）」として、平成29年4月1日より開所することになる。

保育園の園バスを利用し、下校後、サテライト拠点でバス到着時間まで宿題を終え、自由時間を過ごし、園バス送迎により、豊愛子どもの森 お花ばたけ（栄町 3-4-7）で過ごしながら保護者の迎えを待つという仕組みで運営がスタートする。

芳香稚草園、小学校との連携・保護者との連携が大変重要となってくるので、連携が疎かにならぬようしっかりと確認しながら進めて行く。

◎サテライト拠点 花の里

【指導員】 1名 【指導員補助】 1名 2名の体制で預かりを実施する。

豊愛子どもの森 お花ばたけ（栄町 3-4-7）も、多様化する保護者の就労形態により、登録児童数が定員数充足となっている状態である。

ただし、長期休暇や休業日のみ利用する児童も登録に含まれるため、日常的に利用が必要である児童をしっかりと預かって、栃尾地域で選ばれるような施設として機能していく事が優先課題である。

【地域公益活動】

「施設から地域へ」と掲げ、地域の大型スーパー・トッピー 様の子ども広場での絵本の読み聞かせや、地域の老人福祉施設へ訪問し、絵本を読み聞かせたり、手遊び歌などを実践しているが、大変喜ばれている。「また来いよ」「まってるよ」と利用者の方から訪問を重ねる毎に喜ぶ声を頂けるようになりました。継続して、私たちが出来る「人的資源」を活用し、積極的に来年度も継続して提供していこうと思っている。

<活動内容>

- ・絵本読み聞かせ 場所 トッピー様 子育てひろば
日時 毎月 第二木曜日 16:00～16:30
- ・老人福祉施設訪問 場所 特別養護老人ホーム サンホーム 様 (グループホーム)
日時 毎月 第三火曜日 14:00～15:00

また、地域公益活動の一環として、「地域通信」の発行をした。(毎月 1日付で配布) 地域の皆様へ、施設での様子や活動内容、情報等を掲載し、担当者が直接持参して配布している。

----- ■配布場所 (順不同) ■ -----

- ・栃尾交番
- ・社会福祉協議会
- ・栃尾東小学校
- ・刈谷田中学校
- ・栃尾高等学校
- ・施設近隣の区域 (新栄町班、栄町班)
- ・ショッピングモール トッピー
- ・特別養護老人ホーム サンホーム

※ 敬称略

(3) 病後児保育

① 事業内容

長岡市内の保育園・幼稚園に通園する乳幼児および長岡市内に通学する小学6年生までの学童を対象に事前登録をし、病気の回復期にあると医師から診断されたお子さんを看護師1名、保育士1名体制で保育・看護を行っている。また、利用児童の状況に応じて臨機応変に職員配置を行っている。

月～金曜日 午前8時～午後6時
土曜日 午前8時～正午
1人1日当たり 2,000円 (家庭の所得に応じた利用料免除制度あり)
給食費(1食当たり) 250円(お弁当の持ち込み可)

② 利用状況

病後児保育室 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用日数	1	4	1	13	7	4	1	1	2	0	4	1
実人数	1(1)	1(1)	1	8	3(2)	3(3)	1	1	2(1)	0	2	1

() 内の数字は実人数のうち他園児・小学生の利用実人数を表したもの

- ・今年度から対象児童が小学3年生から6年生までと引き上げられた。しかし当施設では元来小学生自体の利用が少ないこともあり、利用者数増加にはつながらないのが現状である。
- ・一昨年から利用者数は横ばいもしくは減少傾向となっている。問い合わせの段階で、子どもの状態が回復期であることの確認を徹底しているため、問合せの中には受け入れが困難と思われる事例も少なくない。

- ・ 枋尾エリアに近い施設に空きがなく、紹介されてくる場合も見られる。病後児保育利用の需要が多い地域の保護者からすると、現状、当施設は万が一希望施設に空きがない場合の頼みの綱といった期待もあると思われる。

(4) 一時保育

① 実施状況

保護者の希望する時間帯に合わせ、一時的にお子さんを預かり、各日定員を2名として保育を実施。給食・おやつ共に芳香稚草園に準じて提供した。

月曜～土曜日	午前7時15分～午後7時15分
1人1日当たり	2,000円
4時間	1,000円
(延長料金(16:30以降)・・・)	+200円)

② 利用状況

一時保育 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延べ人数 (半日)	1 (0)	6 (0)	12 (1)	12 (2)	18 (1)	21 (3)	26 (4)	28 (4)	26 (1)	21 (14)	32 (18)	16 (15)

- ・ 昨年度に引き続き3歳未満児の利用が多く、その中でも1歳児の利用割合が高い。定期的に利用される方や、里帰り出産による利用者もあり、年度後半には多くの利用があった。